

# 平成30年度の鳥取県 原子力防災対策（予定）

平成29年度第2回原子力安全顧問会議  
平成30年3月19日（月）

# 平成30年度 取組方針

## ○方針

- ・島根原子力発電所及び人形峠環境技術センターの情報把握を行い、原子力事業者に対して安全確保を求めるとともに県民への迅速かつ的確な情報提供及び必要な資機材整備を行う。
- ・特に、基盤的整備(H25～27)の成果を基礎とした、原子力防災体制のさらなる実効性向上を目的とした現中期整備計画(H28～30)の最終年度として仕上げを行うとともに、次期中期整備計画の検討を行う。

## ○重点実施項目

### (1)原子力安全対策

- ・島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査、1号機廃止措置への適確な対応
- ・原子力安全顧問による安全性の確認、原子力安全対策合同会議等による住民との情報共有

### (2)原子力防災体制の整備

- ・島根地域原子力防災協議会において緊急時対応の確認等の重要事項を協議(所管:内閣府)
- ・引き続き、避難等の防護措置の実効性の向上(輸送手段の確保と要請スキームの明確化等)
- ・先進システム(先進補給システム、避難オペレーション、ドローン等)の戦力化

### (3)原子力防災訓練の実施

- ・基本訓練と組織訓練、機能別訓練を計画的かつ段階的に実施していく。
- ・実動訓練等については、関係自治体との共同訓練を基本とし、連携推進を図る。

### (4)住民等への普及啓発の促進

- ・放射線や原子力防災対策に対する知識の普及啓発の実施(研修会、現地研修会等)

### (5)安全協定の改定等

- ・原子力事業者との安全協定の改定等

**引き続き全庁的な取組みとして推進**

# 平成30年度原子力防災対策関連予算

※基盤的原子力防災体制整備 (H25~27)

## ■原子力防災体制中期整備 (H28~30)

- 中国電力へ島根原発の原子力防災対策への協力の申し入れ(H26.10.20)、基金創設(H27.12)
- 島根原子力発電所1号機の廃止(H27.4.30運転終了,H28.7.4廃止措置計画申請)
- 島根原子力発電所2号機の新規制基準への適合性確認申請(H25.12.25)
- 島根県との覚書締結(H25.11.7)
- 中国電力へ島根原発安全協定の改定協議(H25.3.15~)
- 地域防災計画(原子力災害対策編)、広域住民避難計画(H27.8.24修正)
- 原子力災害対策指針(H24.10.31決定、H28.3.1、H29.3.22、H29.7.5一部改正)

背景

平成30年度  
当初予算事業費  
約 **5.9億円**  
(H29:約10.5億)  
※うち原子力安全対策基金  
充当 1.8(1.5)億円

### 初動体制の強化等

#### ■原子力防災ネットワーク等による情報収集・共有化、普及啓発等

**3.0億円(4.7億円)**

##### ○鳥取県原子力防災対策事業

- ・原子力防災訓練、普及啓発(原発見学会、パンフレット作成費等) 53百万円
- ・防護資機材保守・校正・整備費、環境放射線モニタリングシステム保守、先進システム、(ゲートモニタ、避難退域時検査会場の高度化、大型車両除染システム等)、原子力防災NWシステム保守等 216百万円
- ・原子力安全顧問会議 3百万円
- ・環境放射能サンプリング調査 14百万円
- ・非常勤人件費、標準事務費 13百万円

### 被ばく医療体制の整備

#### ■医療機関等の体制構築

**0.4億円(0.2億円)**

##### ○被ばく医療体制整備・医療福祉施設放射線防護対策

- ・緊急被ばく医療研修、放射線測定器校正費、安定ヨウ素剤の更新等 35百万円

##### ○避難退域時検査事業・老人福祉施設避難対策等

- ・放射線測定器校正費等 2百万円

### 平常時モニタリング体制整備

#### ■放射線測定体制の構築

**1.3億円(4.4億円)**

##### ○島根原子力発電所に係る環境放射能等モニタリング事業

- ・環境試料平常時モニタリング事業 6百万円
- ・原子力環境センター管理運営費、同センター機器整備 117百万円
- ・モニタリング要員の人材育成 3百万円

### 職員人件費

**1.2億円(1.2億円)**

##### ○原子力防災対策に従事する職員人件費

3

# 年間スケジュール（案）

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
訓練		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">図上訓練</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">船舶訓練</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">島根原子力発電所 対応</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">人形峠環境技術 センター対応</div> </div>	
普及啓発	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">現地研修会 4/22</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">講演会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">避難先・避難経路 確認訓練</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">研修会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">現地研修会 8/5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">避難先・避難経路 確認訓練</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">現地研修会 10/24</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">避難先・避難経路 確認訓練</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">避難先・避難経路 確認訓練</div>
その他	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">顧問会議</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">顧問会議</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">顧問会議</div>

※現段階での予定であり、今後変更する場合があります。

# 原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）

2県6市による島根原子力発電所対応の原子力防災訓練は、平成23年度から実施しており平成29年度で7回、実動の住民避難を伴う訓練は6回実施。

平成30年度の開催日時等は未定ですが、計画で定める避難帯域時検査会場での訓練に向け、今後島根県等と協議しながら決定する予定。

## 【平成29年度訓練内容】

### 1 日程

平成29年11月17日(金)、19日(日)2県6市の主催により実施(共同訓練、機能別訓練)  
※7月26日に図上訓練を、8月9日・10月19日に船舶避難訓練及び県営広域避難所開設訓練等を実施

### 2 場所

鳥取県庁、西部総合事務所、米子市役所、境港市役所、米子・境港市一時集結所、イオンモール日吉津、美保航空基地 等

### 3 訓練参加機関等

#### (1)参加機関

40機関(鳥取県側)

#### (2)参加者数

約950名(※うち住民参加者数は約310名)

### 4 訓練項目

本部等運営訓練(初動対応訓練)、オフサイトセンター訓練、緊急時モニタリング訓練、住民避難訓練、避難行動要支援者避難訓練、緊急被ばく医療活動訓練、車両除染等訓練、西部7町村合同避難所開設訓練 等



## 避難退域時検査訓練(イオンモール日吉津)



## 緊急避難訓練(陸上自衛隊、ドローン)



## 避難行動要支援者避難訓練(入院患者)



## 避難行動要支援者避難訓練(高齢者)



## 原子力防災講座(10/21、27、31)



## 4 原子力防災訓練（人形峠環境技術センター対応）

（国研）日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターにおける原子力事故・トラブル発生時の対処能力の向上を図るため、岡山県と合同で訓練を実施（今回で18回目）。

平成30年度の開催日時等は未定ですが、今後岡山県等と協議しながら決定する予定。

### 【平成29年度訓練内容】

- 1 日時：平成29年10月31日（火） 8:30～15:00
- 2 場所：上齋原オフサイトセンター、鳥取県庁、中部総合事務所、原子力環境センター等
- 3 参加者：約70名（鳥取県）
- 4 参加機関  
鳥取県庁、鳥取県警、三朝町、日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター 等
- 5 事象想定
  - ・人形峠環境技術センター内のウラン濃縮原型プラント第3ウラン貯蔵庫（核燃料物質使用施設）において、施設内で発生した火災が拡大し、加熱された六フッ化ウラン（ $UF_6$ ）シリンダが損傷を受けて $UF_6$ が漏えい。
  - ・ $UF_6$ が屋外に漏えいし、その漏えい量が原子力災害対策特別措置法第10条に想定する量に達したため事業者から特定事象通報。

※このような事象が起こらないよう、事業者は設備点検や安全機能の維持、設備の運転管理につとめていますが、想定外の事象があったとして、このように設定しています。

# 4 原子力防災訓練（人形峠環境技術センター対応）

## 6 訓練内容

### (1) 本部等訓練

- ・災害対策本部の運営と事故発生時における基本対応要領の確認
- ・災害対策本部と他機関、中部総合事務所との連携の確認



### (2) オフサイトセンター訓練

- ・県連絡員の派遣と活動（岡山県等との情報共有）
- ・現地事故対策連絡会議への参加
- ・緊急時モニタリングセンターへの活動参加



### (3) 緊急時モニタリング訓練

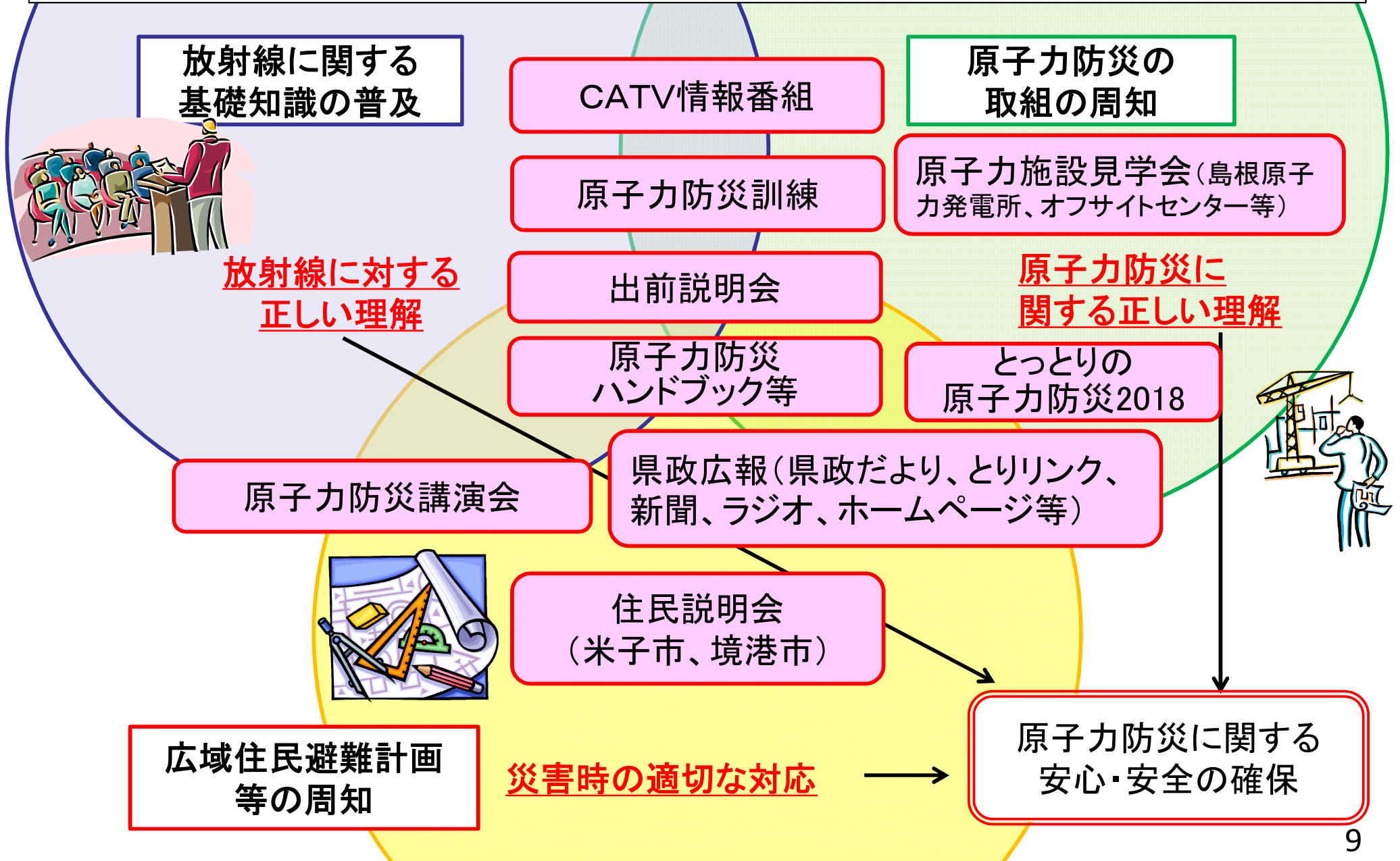
- ・緊急時モニタリング計画に基づくモニタリングの実施（モニタリング情報共有システム、モニタリング車等を用いた実動計測）





# 住民等への普及啓発

原子力防災対策については、住民の放射線に対する正しい理解と防護対策への共通の理解が重要であるため、普及・啓発活動をPull型・Push型など様々な形で実施



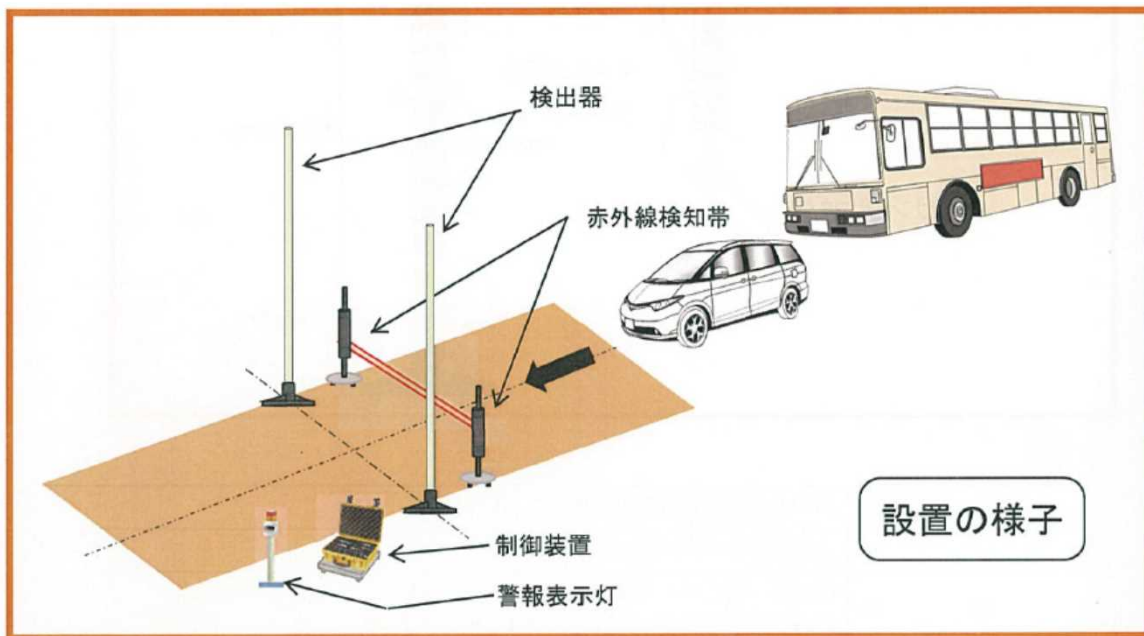
# 平成30年度整備予定の主な資機材

## 車両用ゲートモニタ

### 1 目的・概要

避難退域時検査会場で実施する車両の検査の迅速化を図り、交通渋滞の発生を抑制するため、車両が通過するだけで汚染検査が可能なゲートモニタを整備するもの  
平成29年度に2基整備済みで、平成30年度に2基追加整備予定。

《車両用ゲートモニタを利用した検査イメージ》



《平成29年度訓練における使用状況》



# 大型車両除染システム

## 1 目的・概要

避難退域時検査におけるバス等の大型車両の除染用資機材を標準化した上で、コンテナに収納し一括管理することで迅速な輸送体制を構築。

現在1基整備済みで、平成30年度に1基追加整備予定。

## 2 コンテナに収納する主な資機材

- ・大型車両除染用テント
- ・高圧洗浄機
- ・発電機
- ・排水処理ポンプ 等



## 【運用イメージ】

平常時



- 資機材をシステム化し、コンテナに収納して、一括管理。
- いつでも輸送業者が搬送可能な状態にしておき、被災していない地域から被災地域の近傍まで輸送を行う(輸送の主動を確保)。

災害時



- トラック等で避難退域時検査会場へ輸送。
- 要員は参集するのみ



- 避難退域時検査会場でテント等の資機材を展開し、大型車両の除染を実施



# 平成29年度に整備した主な資機材

モニタリング車



新型テント(ドラッシュ型テント)



移動式ホールボディカウンタ車



小型無人飛行機(ドローン)

